

若手OT、地域支援事業への参加



石井将人

20代、5年目

富永調剤薬局 営業

前職は回復期リハ病棟、通所リハ勤務

県士会学術部委員

Q 地域リハビリテーション活動支援事業に参加したきっかけや参加した事業の経験

地域リハ活動支援事業に参加したきっかけは、学生時代の臨床実習のバイザーが地域個別ケア会議に参加しており、いずれ私も参加したいと思ったからです。私は2022年度から地域ケア個別ケア会議に参加していますが、マネジメントの難しさ、ケアマネから相談される内容に対する的確に答えることの難しさを痛感しています。

Q 事業の見学をした経緯と見学を通してどのような学びがありましたか

所属先の先輩が地域ケア個別会議に参加していたため日程調整をして見学しました。学びとしては助言する内容について臨機応変さが求められると感じました。会議では目の前に事例の方がいないためケアマネからの資料をもとに的確な助言をしなければなりません。事例の性格や生い立ち、生活歴などの「人」を見る視点を大事にしつつ、自立支援に向けた具体的な助言が会議では求められるのではないかと考えます。

Q 普段の業務の経験が事業に活かされたことがありましたか

地域個別ケア会議に参加する際は、5年間で経験した業務での知識を活かした助言をするように意識しつつ、時には先輩に相談したりしています。また、会議の経験を活かし、通所リハの勤務でケアマネと情報交換する際は、利用者の生活行為目標とリハ内容についてできるだけ伝えるように意識しています。